
岩出市
子ども・子育て支援事業計画

(案)

平成 27 年 3 月
岩 出 市

目 次

第1章 計画策定にあたって.....	1
1. 計画策定の趣旨.....	1
2. 計画の性格.....	2
3. 計画の期間.....	2
4. 計画の策定方法.....	2
第2章 岩出市の子どもと家庭を取り巻く環境の現状.....	4
1. 本市の少子化の動向.....	4
2. 家族や地域の状況.....	6
3. 就業の状況.....	10
4. 保育サービス等の提供状況.....	11
5. 子育て支援サービス等の状況.....	18
6. 子育て家庭の状況とニーズの動向.....	20
第3章 計画の基本的な考え方.....	26
1. 基本理念.....	26
2. 基本的な視点.....	27
3. 基本目標.....	28
4. 施策の体系.....	29
第4章 施策の推進方向.....	30
1. 安心して子どもを産み育てる環境をつくれます.....	30
2. 地域で子育て家庭を支える環境をつくれます.....	35
3. 子どもの最善の利益を支える環境をつくれます.....	42
4. 健全な子どもを育む教育・保育環境をつくれます.....	46
第5章 量の見込みと確保方策.....	53
1. 教育・保育提供区域の設定.....	53
2. 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策.....	53
3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策.....	55

第6章 計画の推進に向けて.....	62
1. 計画の推進体制.....	62
2. 計画の進捗管理.....	62
第7章 資料.....	63
1. 岩出市子ども・子育て会議設置条例.....	63
2. 岩出市子ども・子育て会議委員名簿.....	65
3. 計画策定のプロセス.....	66

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

近年、わが国では超少子・高齢化、人口減少社会の到来が進行し、大きな社会問題となっています。

国では、少子化対策として平成15年に制定された「次世代育成支援推進対策法」に基づき、総合的な取組を進めており、子ども・子育てを取り巻く社会情勢の変化を受け、新たな支援制度を構築していくため、平成22年の「子ども・子育てビジョン」の閣議決定、子ども・子育て新システム検討会議の設置を皮切りに、幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築について検討が始まりました。

平成24年には、認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の新たな給付や、認定こども園法の改正などが盛り込まれた「子ども・子育て関連3法」が制定されました。

新たな制度のもとで、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すを基本に、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援等を総合的に推進していくことを目指すものです。

このような少子化の進行や出生率の低下は、今後、社会保障をはじめ、わが国の社会経済全体に急速な構造変化をもたらし、深刻な影響を与えるものと予想される一方で、子どもが健やかに育つ環境を形成する上で多くの課題を抱えています。

当市においても、子育てに関する多様なニーズを受け止め、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが求められており、いきいきとした活力あるまちづくりを進める上でも、当市の特性を活かし、総合的・計画的に子育て支援施策を推進していくために計画を策定するものです。

2. 計画の性格

平成24年8月に「子ども・子育て支援法」、「認定こども園法の一部改正」、「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の子ども・子育て関連3法が成立し、これらの新制度に基づき、地域の実情に合わせた子育て支援の充実を図るものです。

「子ども・子育て支援事業計画」(以下「事業計画」という。)は、5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての計画となります。

また、この事業計画は、当市のまちづくりの総合的指針である「第2次岩出市長期総合計画」を上位計画に、これまで子育て支援施策の取組を進めてきた「次世代育成支援対策推進法」に基づく「岩出市次世代育成支援行動計画」を継承し、その他の関連計画との整合性を図りながら、子ども子育て支援法第61条の規定に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画として位置づけられます。

3. 計画の期間

子ども・子育て支援法では、市町村が定める事業計画の期間は平成27年度からの5年を計画期間として定めています。

そのため、本計画の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。また、5年間の計画期間中であっても、様々な状況の変化により見直しの必要性が生じた場合、適宜、計画の見直しを行っていくものとします。

平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
次世代育成支援行動計画【後期計画】									
				検証 策定	子ども・子育て支援事業計画				

4. 計画の策定方法

(1) ニーズ調査の実施

この計画を作成するにあたり、子育て中の保護者の意見やニーズを的確に反映した計画とするため、0歳から5歳の就学前児童の保護者1,436人、小学生の保護者802人を対象として、ニーズ調査を実施しました。

(2)「岩出市子ども・子育て会議」の設置・開催

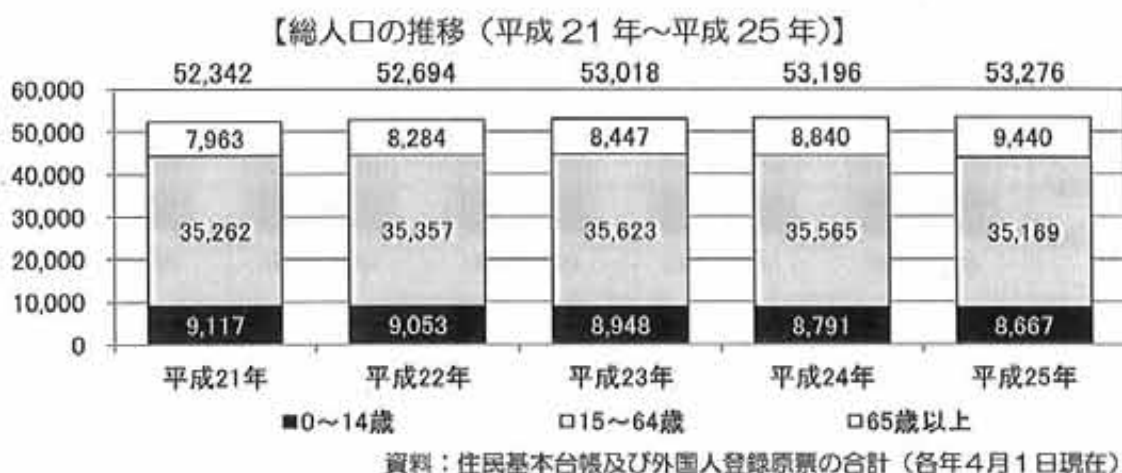
この計画に子育て当事者等の意見を反映するとともに、当市における子ども・子育て支援施策を子ども及び子育て家庭の実情を踏まえて実施するため、公募による委員及び子育て支援に関する団体から推薦を受けた17名の委員で組織する「岩出市子ども・子育て会議」を設置し、計画の内容について審議しました。

第2章 岩出市の子どもと家庭を取り巻く環境の現状

1. 本市の少子化の動向

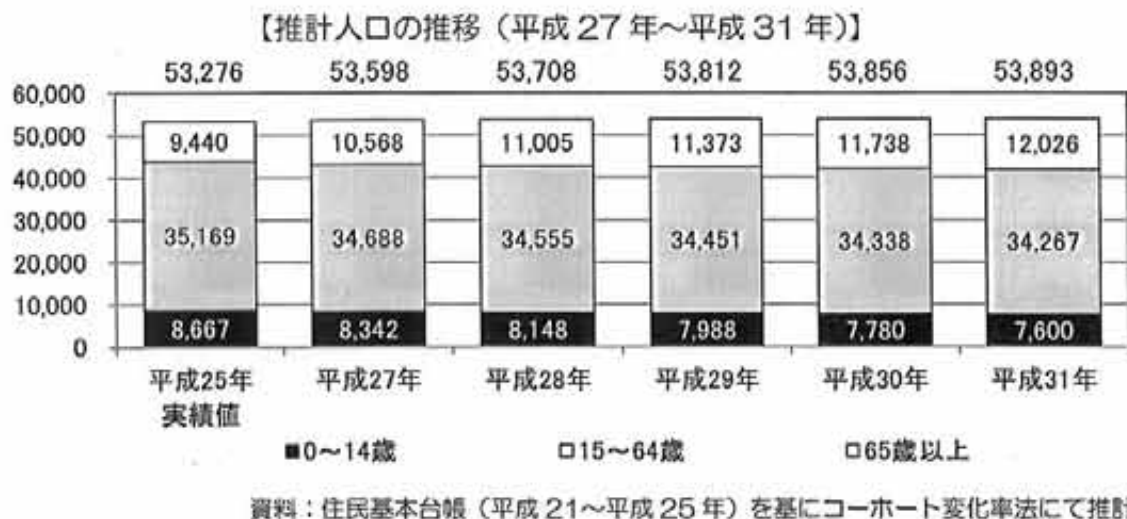
(1) 総人口の推移(平成21年～平成25年)

本市の人口は、近年急速に増加し、平成15年には5万人を超え、その後も年々増加し、平成25年4月1日現在では53,276人となっています。



(2) 推計人口の推移(平成27年～平成31年)

推計人口の推移を見ると、年々増加し、平成31年には53,893人になると予想されます。



(3) 年齢3区分別人口の推移(平成 21 年～平成 25 年)

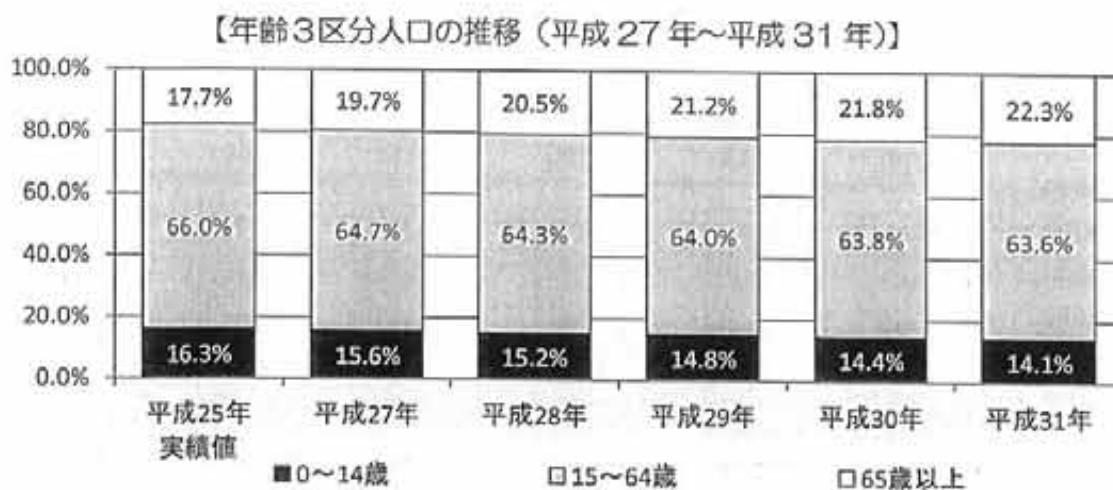
年齢3区分別人口の推移を見ると、年少人口は、近年緩やかではありますが、年々減少しています。反対に、老年人口は増加しており、平成 25 年4月1日現在では 17.7% になっています。今後は、子どもを産む生産年齢人口の減少も見られるなど、少子・高齢化はさらに進行するものと予測されます。



資料：住民基本台帳及び外国人登録原票の合計（各年4月1日現在）

(4) 年齢3区分別人口の推移(平成 27 年～平成 31 年)

年齢3区分人口の推移を見ると、年少人口は年々減少し、反対に老年人口は増加していくと予想されます。

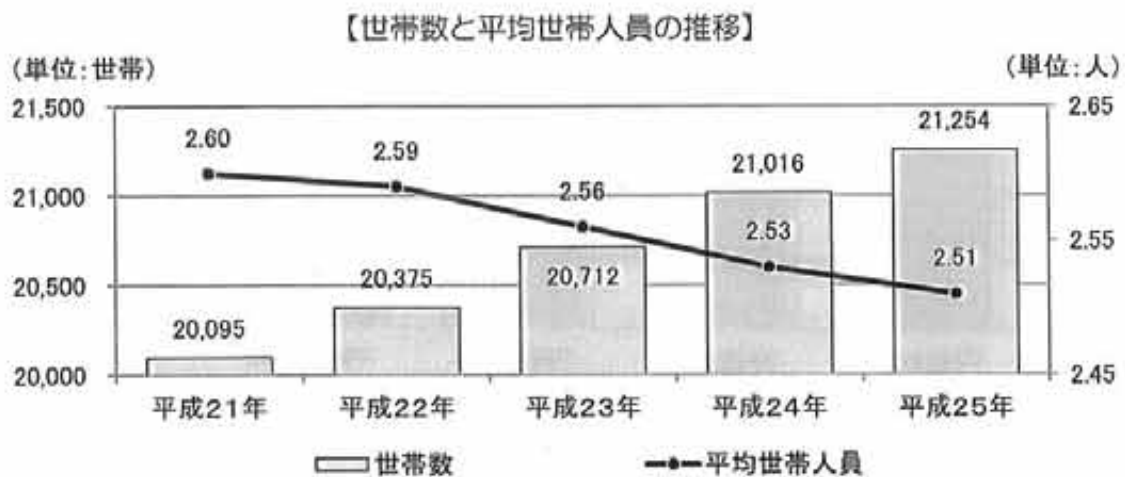


資料：住民基本台帳（平成 21～平成 25 年）を基にコーホート変化率法にて推計

2. 家族や地域の状況

(1) 世帯数と平均世帯人員の推移

人口の増加に伴い、世帯数も増加傾向が続いており、平成25年4月1日現在で21,254世帯となっています。しかし、1世帯あたりの平均世帯人員は年々減少しており、平成12年に初めて3人を割り込み2.93人となり、平成25年には2.51人となっています。



(2) 世帯構成の推移

世帯構成を見ると、各年とも核家族世帯が最も多く、単独世帯も増加しています。また、ひとり親世帯が平成22年には1,835世帯と、平成2年と比較して約10倍に増加しています。

【世帯構成の推移】

(単位:世帯)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
一般世帯数合計	9,501	12,973	16,178	17,771	19,529
核家族世帯	6,697	9,115	11,239	12,389	12,902
その他の親族世帯	1,880	2,050	2,050	1,906	2,124
非親族世帯	11	44	58	91	164
単独世帯	913	1,764	2,831	3,385	4,339
ひとり親世帯(再掲)	171	224	364	528	1,835

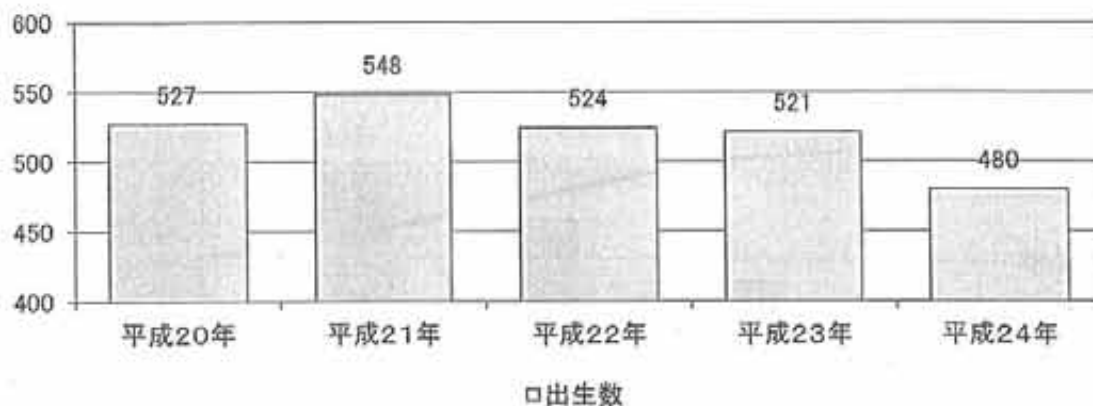
資料：国勢調査

(3) 出生の動向

本市の出生数は、平成20年は527人となっていました。それ以降、増減を繰り返しながらも徐々に減少し、平成24年では480人となっています。一人の女性が一生に生む子どもの数を示す合計特殊出生率は、全国・和歌山県より高く、1.50台で推移していますが、人口を維持するために必要な2.08を下回っています。

【出生の動向】

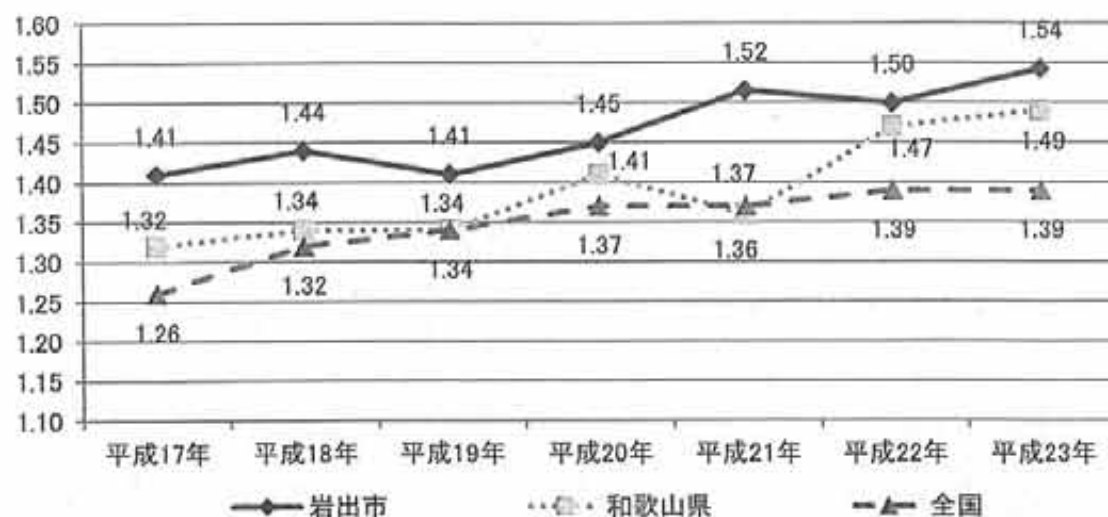
(単位:人)



資料：人口動態統計

【合計特殊出生率の動向】

(単位:人)



資料：人口動態統計及び岩出保健所

(4) 結婚の動向

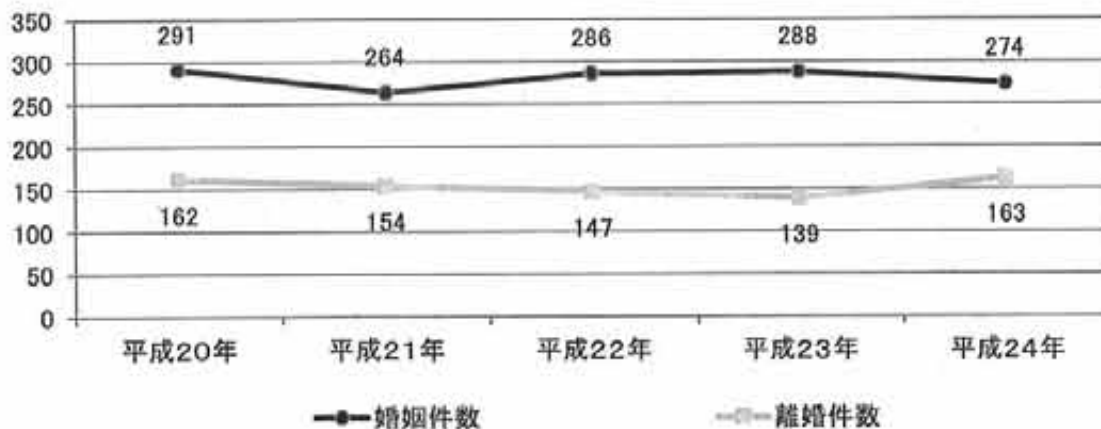
① 婚姻・離婚数の推移

婚姻数は、300件前後で推移し、平成20年の291件をピークに徐々に減少しています。

離婚数は、160件前後で推移し、平成23年の139件以降、徐々に増加の傾向が見られます。

【婚姻・離婚数の推移】

(単位:件)



資料：人口動態統計

②未婚率の推移

本市の平成22年の未婚率を見ると、20～24歳では男性で91.2%、女性で84.9%となっていますが、25～29歳では男性で60.1%、女性では50.4%となっています。また、平成2年と平成22年を比較すると、25～29歳女性の未婚率が約2倍、30～34歳で約2.7倍、35～39歳では約3.8倍と大きく上昇しています。

【未婚率の推移】

		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成2年	全国	92.2	85.0	64.4	40.2	32.6	13.9	19.0	7.5
	和歌山県	88.6	81.6	57.1	35.4	26.5	11.5	15.2	6.5
	岩出市	86.2	76.6	44.3	26.2	17.7	9.2	9.9	4.0
平成7年	全国	92.6	86.4	66.9	48.0	37.3	19.7	22.6	10.0
	和歌山県	89.9	83.4	60.6	43.7	30.1	16.6	17.3	8.3
	岩出市	87.3	77.3	45.7	29.3	18.8	10.6	10.6	6.5
平成12年	全国	92.9	87.9	69.3	54.0	42.9	26.6	25.7	13.8
	和歌山県	89.8	84.9	63.4	50.2	36.8	23.3	20.6	11.9
	岩出市	88.8	80.9	49.8	36.7	21.3	14.3	13.3	8.3
平成17年	全国	93.4	88.7	71.4	59.0	47.1	32.0	30.0	18.4
	和歌山県	91.3	86.5	66.0	55.4	41.5	28.6	26.9	16.9
	岩出市	88.8	82.8	54.2	44.4	28.7	19.5	17.2	11.3
平成22年	全国	91.4	87.8	69.2	58.9	46.0	33.9	34.8	22.7
	和歌山県	91.3	86.7	68.5	58.4	43.7	32.6	32.1	20.9
	岩出市	91.2	84.9	60.1	50.4	34.0	25.2	22.5	15.1

資料：国勢調査

3. 就業の状況

(1) 産業構造別就業率の推移

産業構造別就業率を見ると、平成2年以降、男女ともに就業人数の増加が続いています。その内訳を見ると、第1次・第2次産業は減少傾向にあり、第3次産業は増加傾向にあります。また、女性は男性に比べて第2次産業に従事する人の割合は低く、第3次産業に従事する人が圧倒的に多くなっています。

【産業構造別就業率の推移】

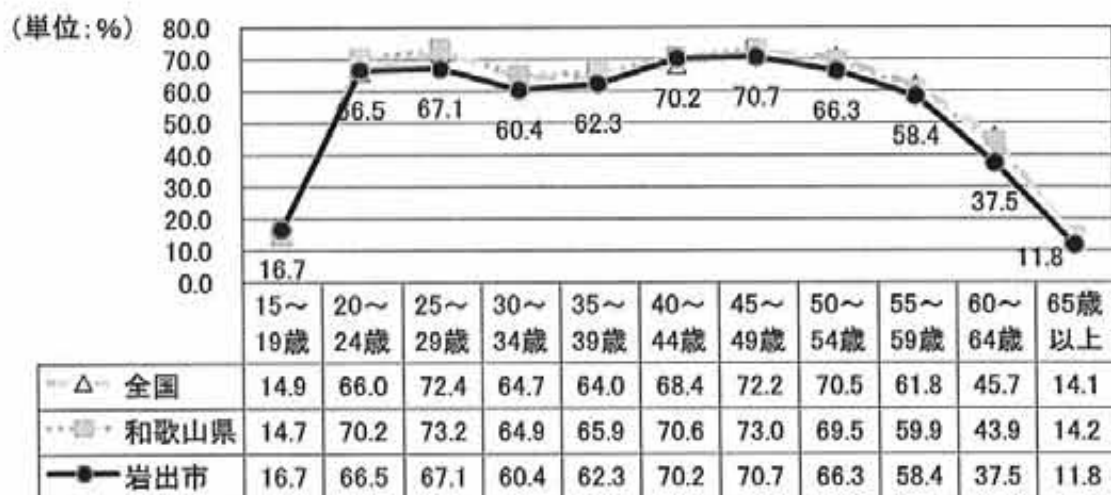
	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
総数(人)	9,144	5,728	12,127	7,340	13,583	8,575	13,865	9,695	13,470	10,037
第1次産業(%)	6.3	10.1	4.8	7.2	3.6	5.1	3.2	4.0	3.2	3.3
第2次産業(%)	37.8	21.3	38.5	20.0	37.2	17.3	33.1	14.3	31.2	12.1
第3次産業(%)	55.7	68.4	56.6	72.4	59.2	77.5	61.3	79.2	61.5	79.8
分類不能(%)	0.2	0.2	0.1	0.4	0.0	0.1	2.4	2.5	4.1	4.8

資料：国勢調査

(2) 女性の年齢別労働力率の推移

女性の年齢別労働力率を見ると、結婚や子育て期と重なる20歳代後半から30歳代前半にかけて一旦低下し、子育てが落ち着く30歳代後半には再び上昇するM字型カーブを描いています。

【女性の年齢別労働力率の推移】



資料：国勢調査（平成22年）

4. 保育サービス等の提供状況

(1) 保育所の状況

① 認可保育所の状況

認可保育所数は、平成20年度までは公立6か所、私立2か所の計8か所でしたが、平成21年4月のおひさま保育園(旧 岩出第二保育所)、平成24年4月の山崎北保育所の民営化により、現在は公立4か所、私立4か所となっています。児童数は、1,300人前後で増減しています。在籍率を見ると、公立・私立ともに保育所によって増減のばらつきが見られ、全体的には減少傾向にありましたが、平成25年度では若干増加しています。

【認可保育所の状況】

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
設置数(か所)		8	8	8	8	8
公立		5	5	5	4	4
私立		3	3	3	4	4
保育士数(人)		134	144	146	165	171
公立		87	88	90	82	81
私立		47	56	56	83	90
定員数(人)		1,440	1,450	1,460	1,480	1,480
公立	岩出保育所	120	120	120	120	120
	山崎保育所	250	250	250	250	250
	山崎北保育所	230	230	230		
	榎本保育所	210	210	210	210	210
	上岩出保育所	270	270	270	270	270
私立	しらゆり保育園	120	120	120	120	120
	さくら保育園	150	160	160	160	160
	おひさま保育園(旧 岩出第二保育所)	90	90	100	120	120
	山崎北保育園				230	230
児童数(人)		1,279	1,311	1,351	1,324	1,344
公立	岩出保育所	102	100	119	118	109
	山崎保育所	212	216	206	216	236
	山崎北保育所	179	190	206		
	榎本保育所	215	198	200	188	203
	上岩出保育所	219	203	199	174	164
私立	しらゆり保育園	106	117	102	84	95
	さくら保育園	167	184	199	190	196
	おひさま保育園(旧 岩出第二保育所)	79	103	120	131	131
	山崎北保育園				223	210
在籍率(%)		89.8	93.6	96.2	91.7	93.1
公立	岩出保育所	85.0	83.3	99.2	98.3	90.8
	山崎保育所	84.8	86.4	82.4	86.4	94.4
	山崎北保育所	77.8	82.6	89.6		
	榎本保育所	102.4	94.3	95.2	89.5	96.7
	上岩出保育所	81.1	75.2	73.7	64.4	60.7
私立	しらゆり保育園	88.3	97.5	85.0	70.0	79.2
	さくら保育園	111.3	115.0	124.4	118.8	122.5
	おひさま保育園(旧 岩出第二保育所)	87.8	114.4	120.0	109.2	109.2
	山崎北保育園				97.0	91.3

資料：福祉課（各年4月1日現在）

②特別保育等の状況

保護者が病気等で一時的に保育を必要とする児童を預かる一時預かり事業を、平成14年度から保育所で実施しています。平成25年度では、利用者数36人、延べ利用日数217日となっています。

【一時預かり事業の状況】

		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		利用者数 (人)	延べ利用 日数(日)	利用者数 (人)	延べ利用 日数(日)	利用者数 (人)	延べ利用 日数(日)	利用者数 (人)	延べ利用 日数(日)	利用者数 (人)	延べ利用 日数(日)
公立	岩出保育所	3	13	-	-	5	42	6	133	2	5
	山崎保育所	2	10	-	-	1	25	2	23	1	8
	山崎北保育所	3	42	1	8	2	2				
	根来保育所	-	-	1	7	1	8	-	-	1	2
	上岩出保育所	5	60	2	4	1	1	-	-	2	9
私立	おひさま保育園 (旧 岩出第二保育所)	6	36	5	31	4	27	8	27	9	55
	山崎北保育園							19	97	21	138
計		19	161	9	50	14	105	35	280	36	217

資料：福祉課

延長保育はすべての保育所で午後7時まで実施しており、保育所によって利用者数にばらつきがありますが、全体的には年々増加傾向にあります。平成25年度の延べ利用日数を見ると、前年よりおよそ1,910日増加し、17,932日となっています。

【延長保育の状況】

		延べ利用日数(日)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
公立	岩出保育所	761	1,089	937	1,299	1,292
	山崎保育所	776	1,177	987	1,499	1,789
	山崎北保育所	558	1,186	1,828		
	根来保育所	1,063	1,293	2,075	2,079	1,978
	上岩出保育所	887	791	550	810	623
私立	しらゆり保育園	272	788	788	494	1,112
	さくら保育園	3,102	2,854	2,737	3,088	3,054
	おひさま保育園 (旧 岩出第二保育所)	658	1,199	2,165	3,064	3,349
	山崎北保育園				3,689	4,735
計		8,077	10,377	12,067	16,022	17,932

資料：福祉課

乳児保育は、平成 20 年度まではしらゆり保育園とさくら保育園の2か所で生後6か月からの保育を実施していましたが、平成 21 年度からはおひさま保育園(旧 岩出第二保育所)、平成 24 年度からは山崎北保育園で生後6週からの保育を開始しました。

【乳児保育（0歳児）の状況】

		入所者数(人)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
私立	しらゆり保育園	3	9	2	3	8
	さくら保育園	8	7	8	9	7
	おひさま保育園 (旧 岩出第二保育所)	5	10	10	9	8
	山崎北保育園				14	11
計		16	26	20	35	34

資料：福祉課（各年4月1日現在）

低年齢児保育及び障害児保育は、ともにすべての保育所で実施しています。

【低年齢児（3歳未満児）保育の状況】

		入所者数(人)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
公立	岩出保育所	24	21	24	16	24
	山崎保育所	39	48	43	47	49
	山崎北保育所	41	43	48		
	根来保育所	40	32	45	41	47
	上岩出保育所	28	30	39	46	37
私立	しらゆり保育園	26	34	27	23	41
	さくら保育園	55	58	62	62	51
	おひさま保育園 (旧 岩出第二保育所)	24	44	52	56	54
	山崎北保育園				58	59
計		277	310	340	347	362

資料：福祉課（各年4月1日現在）

【障害児保育の状況】

		入所者数(人)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
公立	岩出保育所	14	18	12	16	20
	山崎保育所	8	19	11	20	20
	山崎北保育所	7	14	10		
	根来保育所	11	12	11	13	15
	上岩出保育所	7	9	15	14	18
私立	おひさま保育園 (旧 岩出第二保育所)	7	11	10	9	13
	山崎北保育園				11	9
計		54	83	69	83	95

※手帳保持児童及び児童相談所が認定した児童 資料：福祉課（各年4月1日現在）

(2) 幼稚園の状況

幼稚園数は、平成25年度で2か所とここ数年変化はありません。児童数は平成21年度をピークに徐々に減少しており、平成25年度では554人となっています。また、在籍率を見ると、平成25年度には66.0%となっています。

【幼稚園の状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
幼稚園数(か所)	2	2	2	2	2
教職員数(人)	58	60	60	59	51
定員数(人)	840	840	840	840	840
和歌山中央幼稚園	420	420	420	420	420
おのみなと紀泉台幼稚園	420	420	420	420	420
児童数(人)	650	617	584	564	554
和歌山中央幼稚園	296	304	293	306	300
おのみなと紀泉台幼稚園	354	313	291	258	254
在籍率	77.4	73.5	69.5	67.1	66.0
和歌山中央幼稚園	70.5	72.4	69.8	72.9	71.4
おのみなと紀泉台幼稚園	84.3	74.5	69.3	61.4	60.5

資料：教育総務課（各年5月1日現在）

(3) 小学校の状況

小学校数は、平成 13 年度に1校開校し、公立小学校6校となっています。児童数は、平成 22 年度以降、徐々に減少し、平成 25 年度では3,497 人となっています。これに伴い、近年、学級数は微減、教職員数も減少しています。教職員1人あたりの児童数は、平成 25 年度で 15.3 人となっており、徐々に減少の傾向が見られます。

【小学校の状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校数(校)	6	6	6	6	6
学級数(クラス)	129	135	134	130	128
教職員数(人)	218	231	240	235	229
児童数(人)	3,797	3,804	3,730	3,621	3,497
岩出小学校	470	445	416	397	382
山崎小学校	750	736	752	711	705
山崎北小学校	850	864	857	847	808
根来小学校	436	462	456	476	478
上岩出小学校	658	661	644	618	560
中央小学校	633	636	605	572	564
教職員1人あたり児童数(人)	17.4	16.5	15.5	15.4	15.3

資料：教育総務課（各年5月1日現在）

(4) 放課後児童クラブ(学童保育)・児童館の状況

放課後児童クラブ在籍児数を見ると、各年度で増減が見られ、平成 21 年度から平成 25 年度では 230 人前後の在籍児数となっています。

【放課後児童クラブ在籍児数】

クラブ名	定員	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ホープいわで	60	37	34	35	33	36
ホープやまさき	60	38	42	46	44	48
ホープねごろ	40	23	29	33	30	26
ホープかみいわで(A)	40	20	17	22	17	18
ホープかみいわで(B)	40	20	19	18	20	19
ホープあいあい	60	37	45	39	31	46
ホープちゅうおう	60	36	32	37	30	39
合計	360	211	218	230	205	232

資料：教育総務課（各年10月末現在）

児童館の利用者数については、平成25年度では、大人3,422人、子ども7,602人の合計11,024人となっており、平成21年度と比較すると、大人の利用が減少しており、子どもの利用が増加しています。

【児童館利用者数】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大池児童館	2,857	1,678	1,499	1,443	777
	2,018	4,675	4,812	7,554	5,014
	4,875	6,353	6,311	8,997	5,791
岡田児童館	2,892	1,675	1,419	1,600	1,601
	1,508	1,431	991	1,149	1,411
	4,400	3,106	2,410	2,749	3,012
上岩出児童館		555	1,368	640	1,044
		0	314	886	1,177
		555	1,682	1,532	2,221
統計	5,749	3,908	4,286	3,689	3,422
	3,526	6,106	6,117	9,589	7,602
	9,275	10,014	10,403	13,278	11,024

資料：福祉課

(5) 図書館の状況

図書館の利用状況を見ると、登録者数は年々増加し平成24年度では26,416人と市民の約半数の方が登録しています。

【図書館の状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
登録者数(人)	20,531	21,701	23,756	25,077	26,416
0歳～12歳	4,081	4,027	4,067	3,944	3,936
13歳～15歳	1,736	1,718	1,855	1,929	1,869
16歳～	14,714	15,956	17,834	19,204	20,611
貸出冊数(冊)	372,472	365,339	357,556	335,244	343,947
0歳～12歳	80,508	89,623	93,654	90,269	83,426
13歳～15歳	12,729	7,108	3,613	3,215	8,090
16歳～	279,235	268,610	260,289	241,760	252,431
貸出者数(人)	108,961	106,413	104,043	108,956	99,821
0歳～12歳	20,545	23,342	24,299	26,423	21,611
13歳～15歳	3,916	2,218	1,112	1,108	2,410
16歳～	84,500	80,853	78,632	81,425	75,800

資料：岩出図書館

(6)公園の状況

本市には植物公園緑花センター、根来山げんきの森、西国分の東公園、堀口の交通公園、大宮緑地、紀泉台の大供公園など比較的大規模な公園があります。また、根来公園墓地においても、芝生広場や遊歩道、市内が一望できる展望台などを設けています。

運動施設では、大宮緑地総合運動公園、根来若もの広場、根来総合運動広場、岡田グラウンドなどがあります。

その他、宅地開発時に設置された団地内の公園は、約 260 か所あり、身近な公園となっています。

また、山崎地区で平成22年に完成した約 3.7ha の面積を持つ「さぎのせ公園」、上岩出地区では水栖大池の一部を造成して 0.8ha の公園整備を行っています。

5. 子育て支援サービス等の状況

(1) 民生委員・児童委員(主任児童委員)の状況

民生委員・児童委員(主任児童委員)の人数を見ると、人口増加のため、平成25年度の改選で4人を増員し、現在91人が活動しています。その内訳を見ると、男性委員が51人、女性委員が40人となっています。また、1人あたりの担当世帯数は253世帯と毎年増加傾向にあります。

【民生委員・児童委員(主任児童委員)の状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
委員数(人)	86	90	90	90	91
うち男性委員数(人)	46	49	49	49	51
うち女性委員数(人)	40	41	41	41	40
1人あたり担当世帯数(世帯)	245	246	250	253	253

資料：福祉課

(2) 母子保健サービスの提供状況

母子保健サービスの提供状況を見ると、年度ごとに多少のばらつきはあるものの、出生数の減少とともに各事業とも減少傾向にあります。

【母子保健サービスの提供状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
母子健康手帳交付(冊)	578	528	487	482	514	
健康診査等	妊婦健康診査(件)	9,278	8,980	9,258	9,033	9,190
	妊婦産科検診(人)	157	171	138	162	117
	4か月児健診(人)	537	532	508	474	466
	7か月児健診(人)	527	541	513	487	451
	1歳8か月児健診(人)	484	526	516	495	483
	3歳6か月児健診(人)	464	470	454	483	494
健康相談・各種教室等	10か月児健康相談(人)	499	505	496	508	466
	2歳6か月児健康相談(人)	454	461	508	523	478
	妊婦教室(人)	70	71	87	73	82
	親子教室(人)	723	906	820	571	554
	子育て教室(人)	104	179	166	120	225
	栄養教室(離乳食)(人)	90	84	49	71	66
	発達相談(人)	435	444	445	382	381
	母子保健推進員活動(件)	158	164	162	154	126
	赤ちゃん訪問指導(件)	916	831	886	759	711
	訪問指導(件)	109	114	108	130	130
低体重出生児数(人)	47	58	47	44	38	

資料：保健推進課

(3)各種手当・助成受給者数の状況

各種手当受給者数の状況を見ると、児童手当、児童扶養手当は減少傾向、障害者施策に係る各種手当は増加傾向にあります。

【各種手当受給者数の状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
児童手当	4,134			4,933	4,835
子ども手当		5,207	5,076		
児童扶養手当	719	741	763	752	739
特別児童扶養手当	103	110	113	116	116
心身障害児在宅扶養手当	176	180	174	183	183
障害児福祉手当	28	33	34	39	39

資料：福祉課

各種助成受給者数の状況は、平成21年度と平成25年度を比較すると、乳幼児医療費助成、ひとり親家庭医療費助成は減少傾向にあり、重度心身障害児(者)医療費助成は増加傾向にあります。

【各種助成受給者数の状況】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
乳幼児医療費助成	3,485	3,440	3,379	3,309	3,301
ひとり親家庭医療費助成	2,020	2,108	2,097	2,048	1,968
重度心身障害児(者)医療費助成	1,112	1,128	1,132	1,152	1,180
総計	6,617	6,676	6,608	6,509	6,449

資料：保険年金課

6. 子育て家庭の状況とニーズの動向

(1) 子どもの状況

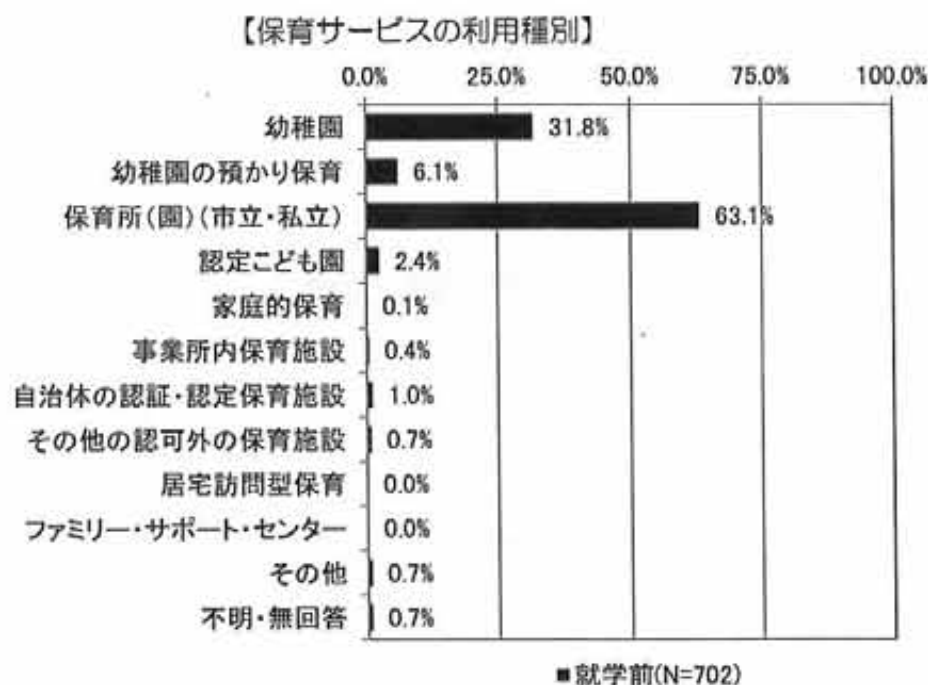
① 保育サービスの利用状況

就学前児童における保育サービスの利用状況を見ると、84.0%の方が保育サービスを利用していると答えています。また、利用している保育サービスの種別で見ると、認可保育所が63.1%と最も多くなっています。

※以降図表中のNは母数を表しています。



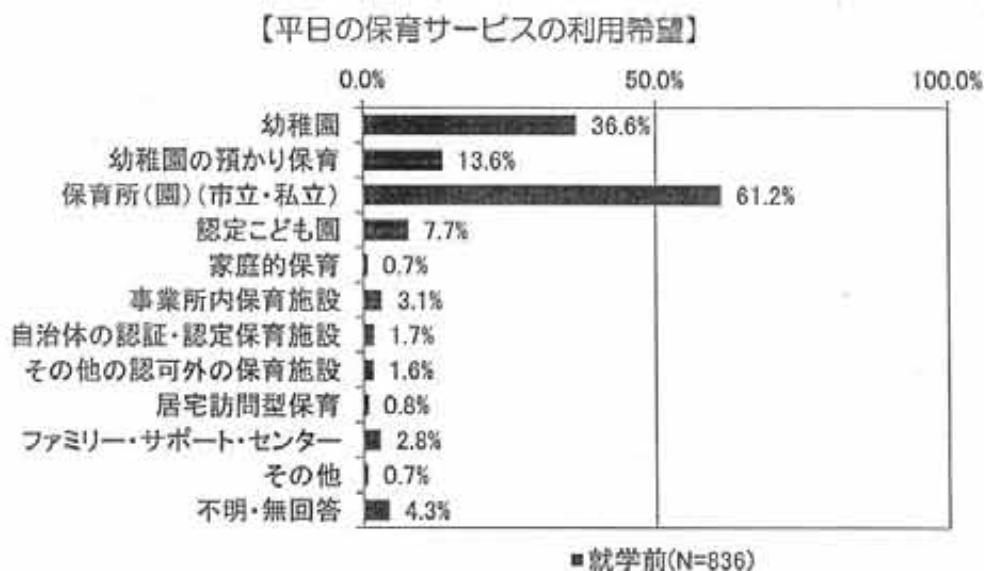
岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

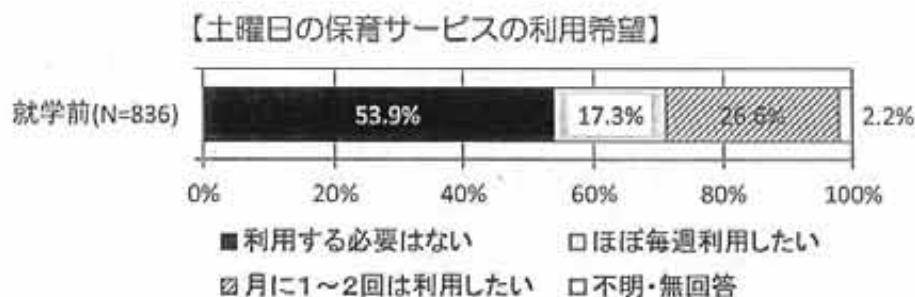
② 保育サービスのニーズの動向

保育サービスの利用希望を見ると、「保育所(園)(市立・私立)」が61.2%、「幼稚園」が36.6%となっています。



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

一方、土曜日の保育サービスの利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が17.3%、「月に1～2回は利用したい」が26.6%、「利用する必要はない」が半数を超える53.9%となっています。



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

休日の保育サービスの利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が4.4%、「月に1～2回は利用したい」が13.9%、「利用する必要はない」が79.2%となっています。

【休日の保育サービスの利用希望】

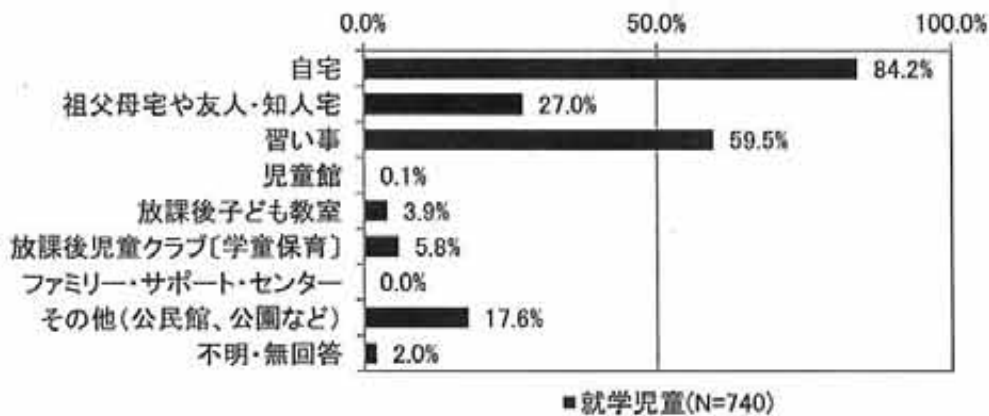


岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

③ 小学生の状況

小学生の平日の放課後の過ごし方を見ると、「自宅」が84.2%と最も多く、次いで「習い事」が59.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」が27.0%、「その他(公民館、公園など)」が17.6%となっています。

【小学生の放課後の過ごし方（平日）】



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

④ 学童保育(放課後児童クラブ)の利用希望

学童保育を現在利用していない人の利用希望を見ると、「利用したい」と回答した人は4.3%となっており、「今後も利用しない」が80.1%となっています。また、放課後子ども教室に対する利用意向としては、「意向がある」が20.4%、「意向がない」が65.5%となっています。

【放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望】



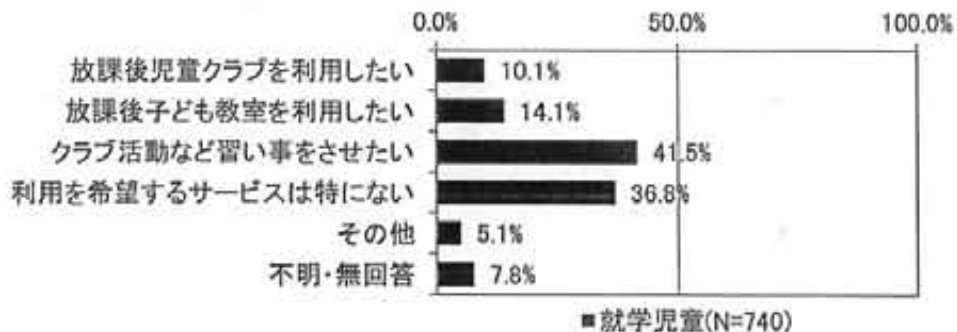
岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査(平成25年12月)

【放課後子ども教室の利用希望】



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査(平成25年12月)

また、小学校4年生以降の放課後の過ごし方としての希望は、「クラブ活動など習い事をさせたい」が41.5%となっています。

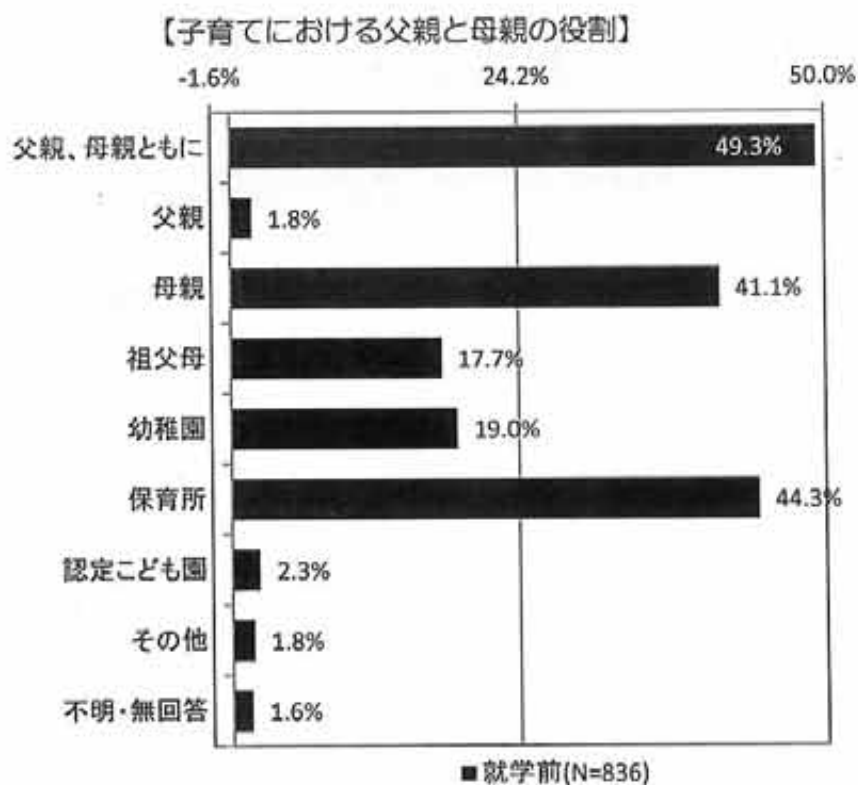


岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査(平成25年12月)

(2) 子育て家庭を取り巻く状況

① 子育てにおける父親と母親の役割

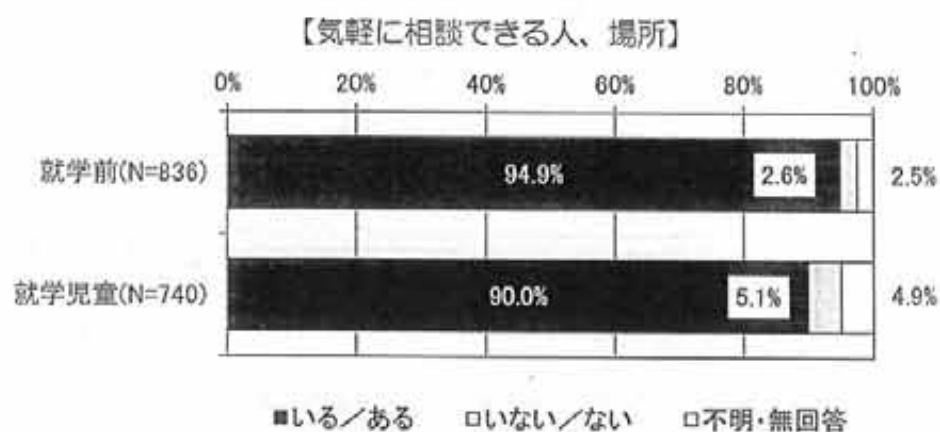
子育てにおける父親と母親の役割について見ると、「父親、母親ともに」が49.3%と最も多く、次いで「母親」が41.1%となっています。



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

② 気軽に相談できる人、場所

気軽に相談できる人、場所について、就学前児童、就学児童ともに「いる／ある」と答えた方が9割を超えています。



岩出市資料：岩出市子ども・子育てに関するアンケート調査（平成25年12月）

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

本計画は、子ども・子育て支援法に基づく基本指針を踏まえつつ、岩出市がこれまで次世代育成支援行動計画の中で実現を目指してきた精神を継承し、次のように基本理念を定めます。

子ども 家庭 地域がともに夢をもてるまち いわで

次代を担う子どもたちが個性豊かで健やかに育つことは、住民すべての願いであり、その道筋を地域全体で支えていくことが大切です。

すべての子どもの健やかな育ちを等しく保障し、子どもたちの最善の利益が実現される社会を目指すために、地域全体が子育て支援に関心を持ち理解を深めていくことが必要になります。

様々な人々とのふれあいやつながりの中で、心豊かな子どもを育てていくとともに、子育てを通じて、家庭・地域もともに成長し、夢をもてるまちを目指します。

2. 基本的な視点

基本理念の下に、以下の4つの視点で施策を推進します。

■一人一人の子どもを尊重する視点■

すべての子ども一人一人が、生命と人権が尊重され、幸せに育つことが保障されていることはもちろんのこと、人と人との関わりを通して、心豊かな人間性を形成し、子どもの利益が最大限に尊重されるよう、子どもの視点に立って取組を進めていきます。

また、障害、疾病、虐待、貧困など特に社会的な支援が必要な家庭に対して、子どもへの最善の利益がもたらせるように配慮します。

■次代の親を育む視点■

子どもたちが次代の親となり、将来のまちづくりにとって欠かせない存在であることから、子どもたちが未来に向かって夢と希望を抱き自ら考え行動し、自立して家庭を持つことができるよう、乳幼児期、学童期、思春期などの特性を踏まえ、発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の取組を進めていきます。

また、次代に向けての社会基盤の構築、インフラの整備などのより住みやすく暮らしやすいまちづくりに向けての施策を推進します。

■親育ちを支援する視点■

社会環境や価値観の変化に伴い、子育て家庭の生活実態や子育て支援にかかる利用者のニーズも多様化してきています。このような多様な個別ニーズに柔軟に対応できるように、妊娠・出産期からの切れ目のない支援、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような取組を進めていきます。

また、子育てに対する負担や不安、孤立感をやわらげることで保護者が自己肯定感を持って子どもと向き合えるような取組を推進します。

■地域全体が子育てを支援する視点■

子どもの成長の基盤は家庭にあります。地域社会での様々な経験を通じて社会的に成長します。職場や地域、学校、行政など地域社会全体が子どもの成長を喜びながら、それぞれの役割を果たし、協働して子育て家庭を支える仕組みづくりを構築できるような取組を進めていきます。

また、男女がともに子育てに関わることができるよう、働き方を見直し、仕事と子育ての調和を実現するための施策を推進します。

3. 基本目標

基本理念を実現するために次の4つを基本目標とし、総合的に施策を推進していきます。

基本目標1: 安心して子どもを産み育てる環境をつくります

すべての子どもが健やかに成長でき、保護者が安心して子どもを育てることができるよう、母子の健康保持・増進、病気の予防や早期発見への取組に加え、緊急時や必要時に適切な医療を受けることができる小児医療体制の充実など、妊娠・出産期からの切れ目のない継続的な支援を推進します。

基本目標2: 地域で子育て家庭を支える環境をつくります

子育ての基本は家庭にあります。子どもは社会を構成する一員であり、心身ともに健やかに育むためには、家庭はもちろんのこと、地域・企業・行政をはじめ、地域社会全体がそれぞれの立場における役割を担いながら協力し合い、子育てを支えることが重要です。

地域における子育てに関する様々な支援の充実を図るとともに、すべての子育て家庭が身近に感じることができる、地域一体となった子育て支援体制づくりを推進します。

基本目標3: 子どもの最善の利益を支える環境をつくります

子どもはその一人一人がかげがえのない個性ある存在であり、その子どもたちの「生きる力」を育みながら子どもの健やかな育ちを尊重し、保障できる社会を目指します。

また、昨今問題になっている児童虐待などの子どもの人権が脅かされている状況にも早期発見、早期対応を常とし、場合によっては適切な社会的養護に繋がります。

基本目標4: 健全な子どもを育む教育・保育環境をつくります

子どもが成長するにつれ、子どもの置かれる状況は劇的に変化していきます。幼稚園・保育所から小・中学校へ繋がる一体的な支援を構築していきます。

また、昨今、子どもに関する社会的事件が増加していることから、安心して外出したり、子どもを犯罪・有害な情報から守るための取組、子どもが本来持っている感性や他人を思いやる心を育むことができるような環境づくりを推進します。

4. 施策の体系

1. 安心して子どもを産み育てる環境をつくります

- (1) 子育て相談・情報提供の充実
- (2) 子どもと親の健康づくりの推進
- (3) 小児医療体制の充実
- (4) 子育て家庭の経済的負担の軽減
- (5) 子どもが遊べる環境の整備

2. 地域で子育て家庭を支える環境をつくります

- (1) 地域子育て支援事業の充実
- (2) 仕事と子育ての両立の推進
- (3) 地域における子育て支援のネットワークづくりの推進
- (4) 地域における子どもの安全確保の推進

3. 子どもの最善の利益を支える環境をつくります

- (1) 児童虐待防止など要保護児童対策の推進
- (2) 障害のある子どもと家庭への支援
- (3) ひとり親家庭への支援
- (4) 子どもの貧困問題への取組の推進

4. 健全な子どもを育む教育・保育環境をつくります

- (1) 教育・保育施設、地域型保育事業の推進
- (2) 学校教育環境の整備
- (3) 家庭・地域の教育環境の充実
- (4) 子どもの放課後の居場所づくりの推進
- (5) 子どもの健全育成活動の推進